

水性クリヤラッカー塗り (CL)

1. 適用範囲

工事名：
 工事場所：
 施工業者：
 塗装業者：
 特約店名：

2. 材料

水性 VATON^{FX} 各色 F☆☆☆☆ O01222
 水性 VATON^{FX} サンディングシーラー NY F☆☆☆☆ O01226
 水性 VATON^{FX} トップクリヤー (艶有り、半艶消、全艶消し) F☆☆☆☆ O01227

3. 施工部位

内装木部

4. 工程

工程	種別		塗料その他		塗付け量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)
	A種	B種	規格番号	製品名		
素地ごしらえ	○(注)1		新設時：18.2.2による、改修時：7.2.2による		—	—
1 着色(注)2	○	—	水性 VATON ^{FX} 各色		0.03	4時間以上
2 ふき取り (注)2	○	—	全面白木綿布片でふき取る。		—	
3 下塗り	○	○	水性 VATON ^{FX} サンディングシーラー NY		0.10	4時間以上
4 研磨紙ずり	○	○	研磨紙 P220~240		—	—
5 中塗り	○	○	水性 VATON ^{FX} サンディングシーラー NY		0.10	4時間以上
6 研磨紙ずり	○	○	研磨紙 P220~240		—	—
7 上塗り (1回目)	○	○	水性 VATON ^{FX} トップクリヤー 艶有り		0.10	16時間以上
8 研磨紙ずり	○	—	研磨紙 P240~320		—	—
9 上塗り (2回目)	○	—	水性 VATON ^{FX} トップクリヤー 艶有り		0.10	—

- (注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。
 2. A種の場合、工程1の適用及び着色に用いる塗料の種類は、特記による。
 3. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。

5. 注記

- 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)及び公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)に基づいた仕様です。
- 着色及びふき取り工程は特記(特別記載)です。着色が必要な場合のみ適用して下さい。
使用塗料等の詳細は別途、弊社へ相談して下さい。
- 改修時、既存塗膜があり、着色工程を適用する場合は表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。
また、改修時、旧塗膜が他種塗料の場合も表7.2.1 木部の下地調整のRA種(既存塗膜の全面除去)を適用して下さい。
- 公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)は目止め工程と着色工程が適用されていますが、弊社仕様では着色工程のみ適用しています。
(目止め工程に該当する塗料はございません。)
- 上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(令和7年度版)のクリヤラッカー塗り(CL)の塗付け量になります。
- 水性 VATON^{FX} は原液でご使用下さい。水性 VATON^{FX} サンディングシーラーNY、水性 VATON^{FX} トップクリヤーは基本的に原液使用です。希釈する場合は、水道水を使用して下さい。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- ふき取り工程で使用したウエス等は自然発火の恐れがありますので、破棄するまで水に浸す等適切に処理して下さい。
- 艶消仕上げの場合は上塗りに水性 VATON^{FX} トップクリヤー 半艶消または全艶消を使用して下さい。
- 不燃処理されている木材には水性塗料は避けて下さい。
- 製品詳細は、製品カタログやSDS等を参照して下さい。